

【大切なことですから、本欄を読んで必ず守ってください】

2023年4月1日

公益財団法人 日本水泳連盟

I 宣伝・広告の媒体について

本連盟では選手や役員のみなさんが宣伝・広告の媒体とならないように競技会の会場内（招集所出口からテابل・植栽・柵・チェーン・パーテーション等の造作物で仕切られた範囲内）で着たり、持ち込んだりするもの、たとえば水着やシャツ、トレーニングウェア、バッグなどのロゴマーク（商標・商標名の総称）などについて次のように制限をしています。よく読んで必ず守ってください。

1 ついていてもよいもの

- (1) 自分の氏名、エントリーした所属（チーム・学校・クラブ等）の名称・マーク。
- (2) オリンピック大会や世界選手権大会等の競技会を表す名称・マーク。
- (3) 国旗・国または地域の名称、都道府県や市町村の名称・マーク。
- (4) 公式競技会および公認競技会のシンボルマークや本連盟が認めたもの。
- (5) 水着・ウェア等のメーカーのロゴマーク。
- (6) 事前承認を得たスポンサーのロゴマーク。

2 それぞれの大きさと数

それぞれの大きさ（サイズ）は着用前の面積とします。採寸方法は正方形または長方形とみなし、縦×横で面積を求めます。それぞれの面積は最大を示し、その範囲内であれば大きさに規定はありません。

ロゴマークの種類／用途	水着についていてよい大きさと数	ウェアについていてよい大きさと数	その他のものについていてよい大きさと数
上記の(1)～(4)	競泳は50cm ² 以内で1カ所。 競泳以外の競技は大きさと数に制限はなし。	大きさと数に制限はなし。	大きさと数に制限はなし。
メーカーのロゴマーク	メーカーロゴまたはマークは30cm ² 以内で1カ所。（注1）	メーカーロゴは40cm ² 以内で1カ所。マークは20cm ² 以内であれば、いくつ、ついていてもよい。	メーカーロゴは20cm ² 以内で1カ所。マークは20cm ² 以内であれば、いくつ、ついていてもよい。
事前承認を得たスポンサーのロゴマーク	30cm ² 以内で1カ所。	40cm ² 以内で1カ所。	20cm ² 以内で1カ所。

注1 ワンピース水着の場合は、ウエストより上に1つウエストより下に1つ許され、ツーピース水着の場合は、上部に1つ下部に1つが許される。ただし、これらのロゴマークは相互に隣接して置くことはできない。

II 国内競技会での競泳水着の取り扱いについて

本連盟ならびに加盟団体が主催する競技会（公式競技会）と公認された競技会（公認競技会）の競泳競技において、着用できる水着は下記の通りです。

1 世界水泳連盟（World Aquatics）の公認した水着を着用すること。

※規定に外れる水着を着用して泳いだ場合の記録は、各公式・公認競技会において参考記録扱いとなり、決勝への出場および全国大会や国際大会の標準突破記録として認められず、本連盟のランキングにも反映されません。

2 着用できる水着は1枚のみとし、水着の重ね着は禁止します。

3 水着へのテーピングおよび2次加工は禁止します。

※水着の重ね着、水着へのテーピングおよび2次加工の規定に違反した場合は失格となります。



ウォーミングアップ時のレーン使用方法について

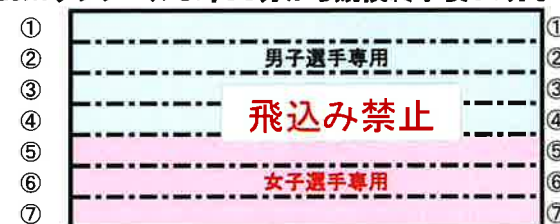
朝のウォーミングアップ時、混雑状況によっては利用制限を設ける場合がございますので、あらかじめご了承ください

『50mメインプール8時00分から9時10分まで』（飛込練習レーン・公式スタート練習以外飛び込み禁止）

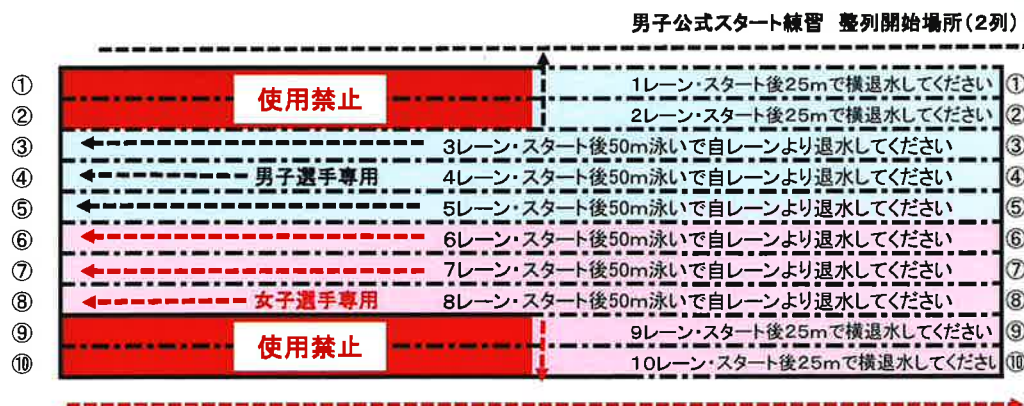
1. 下図のお通り、男女別専用レーンを設けます。
2. 練習道具はキックボード・ブルブイ・スノーケル・フィン以外の使用を禁止します。（パドル使用禁止）
3. 飛込練習は飛込練習レーンと公式スタート練習時のレーンのみ可能です。
4. アップを開始する前は、必ずシャワーを浴びて下さい。
5. レーンロープに乗らないで下さい。
6. 水質保全のため、スイミングキャップの着用にご協力ください。
7. 朝の更衣室混雑緩和のため、来場時にはできるだけ水着（練習）を着用してご来場ください。（更衣室を使用せず、速やかにアップを開始するため。）
8. 脱衣した服などは、全て脱衣袋に入れて管理してください。（更衣室を使用せず、速やかにアップを開始するため。）
※更衣室を使用する場合は、全てを袋に入れてロッカーに収納してください。
※プールサイドに持ち込む場合は、全てを袋に入れて荷物置き場に置いてください。



『25mサブプール8時00分から競技終了後30分まで』



公式スタート練習は8時40分～9時10分で全レーンで行います

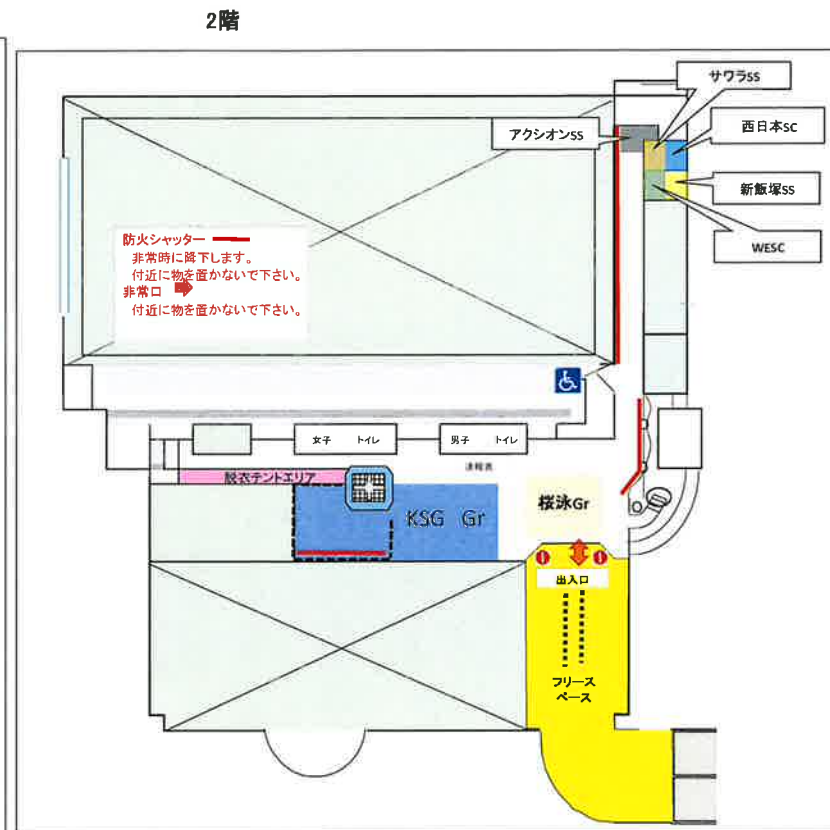
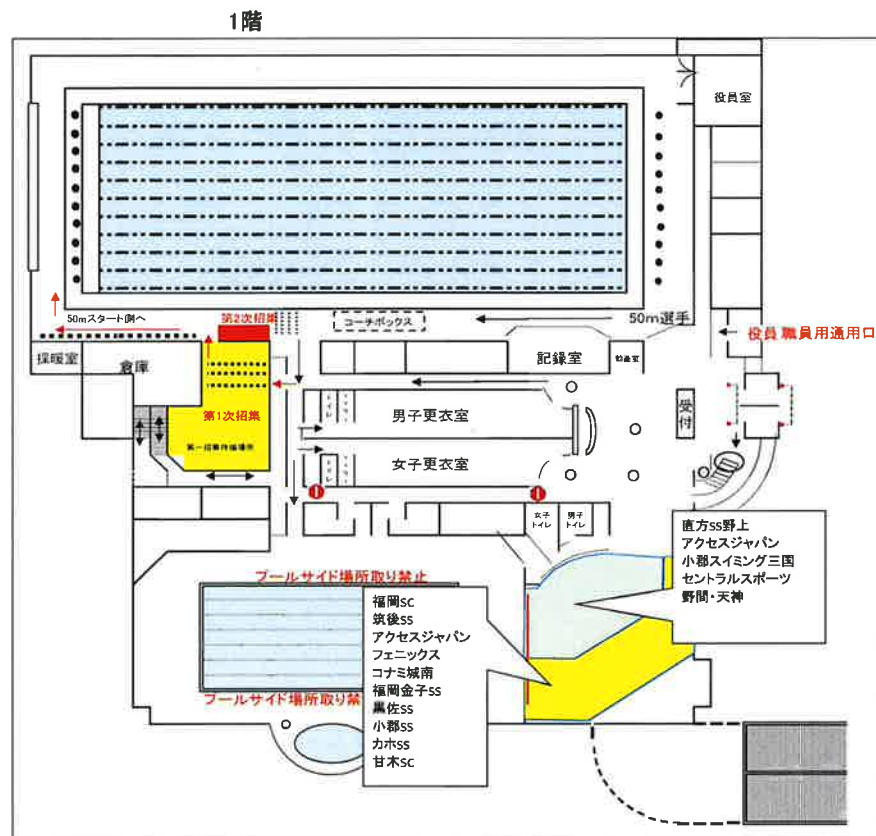
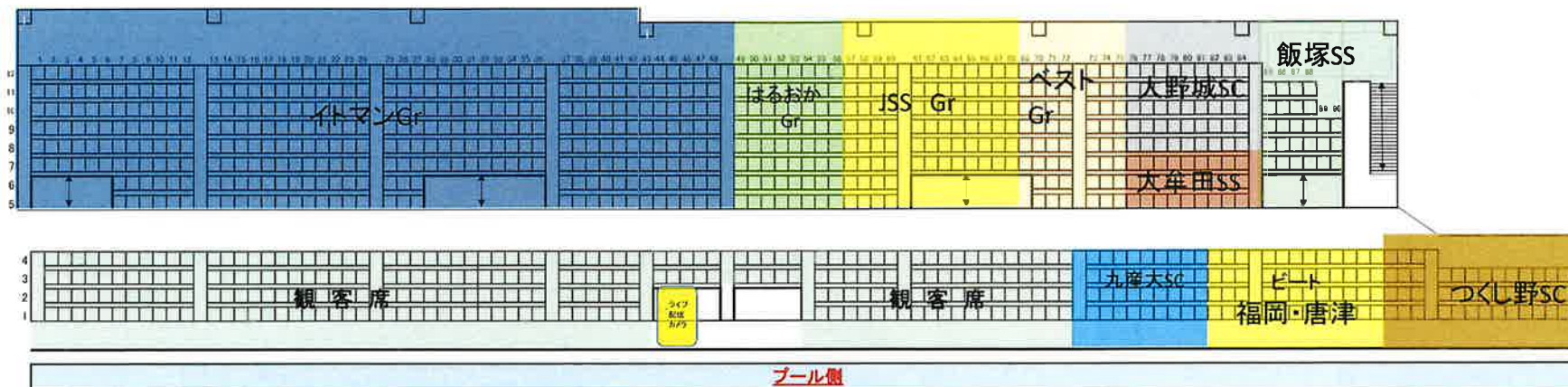


- 公式スタート練習は左図の通り実施します
- 選手の泳力に対応するため以下のとおりレーン毎にルールを設けます。
3～8レーン: スタート～50m泳ぎ、自レーンより退水する。
1・2・9・10レーン: スタート～25m付近から横退水

女子公式スタート練習 整列開始場所(2列)

その他、会場内の案内表示・監視員の指示に従って使用してください。皆様のご協力をお願いいたします。

第19回 福岡県水泳学年別水泳大会【選手控場所および動線図】



第19回 福岡県小学生学年別水泳大会

2025年6月29日

競技順序

No.	区分	男.女	種 目	予選・決勝	時 間	No.	区分	男.女	種 目	予選・決勝	時 間
1	全学年	女子	50m自由形	予選	9:30	28	3年生	男子	50m平泳ぎ	決勝	15:13
予選ランキング表示						29	4年生	女子	50m平泳ぎ	決勝	15:16
2	全学年	男子	50m自由形	予選	10:19	30	4年生	男子	50m平泳ぎ	決勝	15:18
予選ランキング表示						31	5年生	女子	50m平泳ぎ	決勝	15:20
3	全学年	女子	50m平泳ぎ	予選	11:09	32	5年生	男子	50m平泳ぎ	決勝	15:23
予選ランキング表示						33	6年生	女子	50m平泳ぎ	決勝	15:25
4	全学年	男子	50m平泳ぎ	予選	11:34	34	6年生	男子	50m平泳ぎ	決勝	15:27
予選ランキング表示						【小休止5分間】					
5	全学年	女子	50mバタフライ	予選	12:02	35	1年生	女子	50mバタフライ	決勝	15:34
予選ランキング表示						36	1年生	男子	50mバタフライ	決勝	15:36
6	全学年	男子	50mバタフライ	予選	12:23	37	2年生	女子	50mバタフライ	決勝	15:39
予選ランキング表示						38	2年生	男子	50mバタフライ	決勝	15:42
7	全学年	女子	50m背泳ぎ	予選	12:43	39	3年生	女子	50mバタフライ	決勝	15:44
予選ランキング表示						40	3年生	男子	50mバタフライ	決勝	15:47
8	全学年	男子	50m背泳ぎ	予選	13:15	41	4年生	女子	50mバタフライ	決勝	15:49
予選ランキング表示						42	4年生	男子	50mバタフライ	決勝	15:51
【小休止13分間】						43	5年生	女子	50mバタフライ	決勝	15:53
9	全学年	女子	200mメドレーリレー	タイム決勝	13:55	44	5年生	男子	50mバタフライ	決勝	15:55
10	全学年	男子	200mメドレーリレー	タイム決勝	14:09	45	6年生	女子	50mバタフライ	決勝	15:57
【小休止5分間】						46	6年生	男子	50mバタフライ	決勝	15:59
【小休止5分間】						【小休止5分間】					
11	1年生	女子	50m自由形	決勝	14:29	47	1年生	女子	50m背泳ぎ	決勝	16:06
12	1年生	男子	50m自由形	決勝	14:32	48	1年生	男子	50m背泳ぎ	決勝	16:09
13	2年生	女子	50m自由形	決勝	14:34	49	2年生	女子	50m背泳ぎ	決勝	16:13
14	2年生	男子	50m自由形	決勝	14:37	50	2年生	男子	50m背泳ぎ	決勝	16:15
15	3年生	女子	50m自由形	決勝	14:39	51	3年生	女子	50m背泳ぎ	決勝	16:18
16	3年生	男子	50m自由形	決勝	14:41	52	3年生	男子	50m背泳ぎ	決勝	16:21
17	4年生	女子	50m自由形	決勝	14:43	53	4年生	女子	50m背泳ぎ	決勝	16:23
18	4年生	男子	50m自由形	決勝	14:45	54	4年生	男子	50m背泳ぎ	決勝	16:26
19	5年生	女子	50m自由形	決勝	14:47	55	5年生	女子	50m背泳ぎ	決勝	16:28
20	5年生	男子	50m自由形	決勝	14:49	56	5年生	男子	50m背泳ぎ	決勝	16:31
21	6年生	女子	50m自由形	決勝	14:51	57	6年生	女子	50m背泳ぎ	決勝	16:33
22	6年生	男子	50m自由形	決勝	14:53	58	6年生	男子	50m背泳ぎ	決勝	16:35
【小休止5分間】						【小休止10分間】					
23	1年生	女子	50m平泳ぎ	決勝	15:00	59	全学年	女子	200mフリーリレー	タイム決勝	16:48
24	1年生	男子	50m平泳ぎ	決勝	15:03	60	全学年	男子	200mフリーリレー	タイム決勝	17:01
25	2年生	女子	50m平泳ぎ	決勝	15:06	終了予定時間					17:14
26	2年生	男子	50m平泳ぎ	決勝	15:08						
27	3年生	女子	50m平泳ぎ	決勝	15:11						

スマホ・携帯・カメラ など更衣室内への 持込禁止！



- ★更衣室内での撮影は禁止です。
- ★スマホ・携帯・カメラなど撮影機能のついた物は盗撮などの犯罪に使用される場合がありますので撮影目的でない場合は(SNS,通話等)でも更衣室内では絶対に使用しないでください。

- 不審な行動を目撃した場合は、競技役員・コーチにお知らせください。
- 違反行為を行った場合は警察に通報します。

(一社)福岡県水泳連盟

アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ・大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを促します。
- ・研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ・SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆さんのご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ・盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ・SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ・匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会 公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 日本陸上競技者スポーツ協会 一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟 公益財団法人 日本中学校体育連盟 独立行政法人 日本スポーツ振興センター

ドーピングって、なに？ なんでいけないの？

ドーピングとはフェアプレーの精神に反して、競技における運動能力の向上を目的として禁止物質を使用したり物理的な方法を用いたりすることです。また、チームスタッフ等が禁止物質の使用を企てたり支援したりする行為もドーピングの一種とされています。

スポーツの価値の根幹にはフェアプレーがあり、それを尊守する姿勢をスポーツマンシップと呼んで称賛します。スポーツに参加する選手全員がフェアプレーをすることによって始めて勝敗の意味が生まれ、勝者と敗者がともに相手を讃え合う気持ちが湧いてきます。スポーツの価値として、日本アンチ・ドーピング規程（公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構）には以下のようなものが列記されています。

- ・ 倫理観、フェアプレーと誠意
- ・ 健康
- ・ 卓越した競技能力
- ・ 人格と教育
- ・ 楽しみと喜び
- ・ チームワーク
- ・ 献身と真摯な取り組み
- ・ 規則・法を尊重する姿勢
- ・ 自分自身とその他の参加者を尊重する姿勢
- ・ 勇気
- ・ 共同体意識と連帯意識

このような素晴らしい価値をもつスポーツ活動はすべてフェアプレーの上に成り立っており、フェアプレーの精神に反するドーピング行為は禁止されています。



ドーピングが禁止される理由はもう1つあり、それは身体的な健康被害です。ドーピングで禁止している物質の多くは競技力向上と引き換えに健康を害します。せっかくスポーツをとおして健康なからだ、健康な精神を培ってきたのに、ドーピングによって両者ともはかなく崩れ去ってしまうのです。

ドーピングが禁止されているのは、一部のトップアスリートだけではないのです。小学生だって中学生だって、趣味として活動している中高年のスポーツ愛好家だって、「ずるいこと」をして試合に勝っても、すがすがしい達成感は生まれません。

さあ、これを読んだあなたがスポーツの価値を高めていく主役なのです。スポーツ活動をとおして、自分とスポーツを取り囲む文化を磨き上げていきましょう。